

学習目標		
(1)良いこと悪いことを判断し、正しいと思ったことは勇気を持って行動しようとする子どもを育てる。		
(2)自他の良さに気づき、助け合って伸びていく子どもを育てる。		
(3)生活を振り返り、粘り強くやり遂げようとする子どもを育てる。		
月	単元・題材名	学習内容
4	われた花びん ぼくのちかい 黄色いボール	正直に行動できなかった真二のきもちを考えることを通して、ごまかしたりしないで明るい心で生活しようとする態度について考える。 自分から声をかけるまでの「ぼく」の思いをとらえることを通して、相手の気持ちを思いやって進んで親切にしようとする態度について考える。 みんなが使う物について約束について「ぼく」の気持ちの変化をとらえることを通して約束やきまりを守ろうとする態度について考える。
5	アスレチック公園 学校じまん集会 十才のプレゼント	自転車のきまりをまもることができなかった「ぼく」の気持ちの変化をとらえることを通して、安全に気を付け節度ある生活をしようとする態度について考える。 学校のじまんでできることをみつけようとする「ぼく」の思いをとらえることを通して、協力してよりよい学校をつくろうとする態度について考える。 言葉に表せないほどの出来事に出会った「あや」の気持ちの変化を通して、美しい物や気高いものに感動する態度について考える。
6	ふりだした雨 ともだちやもんな、ぼくら 歯がぬけたら 森の水はうたうよ	掃除が終わったときのよしきの行動をとらえることを通して、責任をもって行動し責任を果たそうとする態度について考える。 ヒドソンを助けるために「ぼく」の行った行動や気持ちをとらえることを通して、信頼し友情を深めていこうとする態度について考える。 国によって違う習慣に気づいた「わたし」の気持ちの変化を通して、他国の文化に関心をもち、親しもうとする態度について考える。 森に住む生き物たちと、森にふる雨との関係を通して、自然や動物を大切にしようとする態度について考える。
7	広島の被爆と伝えたいこと ええことするのばええもんや！	原子爆弾がもたらした広島への悲しみ・命の尊さについて思いをとらえることを通して、平和を願い・命を大切にすることを通して考える。 ボランティアとはどのようなことか、3人の行動を考えることを通して、進んで親切にする態度について考える。
9	できるようになりたい 絵はがきと切手 ベッドの上の花ふぶき ひさの星	練習を重ねて「台上前転」ができるようになったよしの気持ちをとらえることを通して、自分で決めた目標に向かって努力し、やりぬこうとする態度について考える。 友達との通いづらさや迷うひろこの気持ちを通して、信頼し、助け合い、友情を深めていこうとする態度について考える。 お花見に行けなかったおばあちゃんが楽しめるようにと行動するふみこの気持ちをとらえることを通して、家族の一員として進んで役立とうとする態度について考える。 ひさの献身的な行動と気持ちをとらえることを通して、心の美しさを感じようとする心情について考える。
10	少しだけなら 生きた礼ぎ ごみ出しの手伝いをして 電池が切れるまで	誘惑に負けそうになったあつしの気持ちを考えることを通して、安全に気を付けて、よく考えて行動し、節度ある生活をしようとする態度について考える。 相手を気遣う女王様の行為を通して、時と場に応じた礼儀について考え、相手を思う心に基づいた形で表現しようとする態度について考える。 近所のおばあさんの行為から自分が出したごみについて振り返り、変化しただけの気持ちを考えることを通して、きまりを守り、規律正しい生活をしようとする態度について考える。 命ある限り精一杯生きようとする由貴奈さんの姿を通して、生命の大切さを知り、健康と安全のために努力しようとする思いについて考える。
11	なしの実 ないた赤おに ひとりぼっちの登君 いのちのおはなし	自分自身に正直であることを選ぶまでのアンリの心の葛藤を考えることを通して、正直にすることは、自分自身を明るくすることに気付き、正直に明るく生きようとする態度について考える。 心が通じ合う赤おにと青おにの姿を通して、互いに信頼し、友達と理解し合おうとする態度について考える。 3人の息子たちの行動を考えることを通して、働くことの大切さを知り、進んでみんなのために働こうとする態度について考える。 日野原先生の、命についての授業を受ける子供たちの気持ちの変化を通して、生命の尊さを知り、生命を大切にしようとする心情について考える。
12	ゆめに向かって、ジャンプ！ 話し合いのできごと 荘川桜	パラリンピック選手・佐藤真海さんの生き方を知ることを通して、自分でやろうと決めた目標に向かって、強い意志をもち、粘り強くやり遂げようとする心情について考える。 ひろしとなつきの話合いの様子を考えることを通して、自分の考えを相手に伝えるだけでなく、相手の考えも聞いて理解し、相手の気持ちも思いやる態度について考える。 村人の桜に対する思いを感じ取ることを通して、生まれ育った郷土のよさを知り、郷土を愛する心情について考える。
1	本当に好きなことは 心を結ぶ一本のロープ 姉妹で運ぶ物資と笑顔	まんが家ちばつやさんの子供の頃の夢を知ることを通して、自分の得意なことや好きなことに気付き、自分らしさを発揮しつつ、良いところを伸ばし、生活しようとする態度について考える。 視覚障害のランナーと、5人の伴走車のそれぞれの思いを考えることを通して、相手の立場に立って思いやりをもって接しようとする態度について考える。 松田姉妹の「人のために何かしたい」と思う根底にあるものは何かを考えることを通して、喜びをもって進んでみんなのために働こうとする心情について考える。
2	近道 雨のバスでいりゆう所で いのちのまつり	たかしに注意した「ぼく」の行動を考えることを通して、良いことと悪いことを自分で判断し、行動しようとする態度について考える。 バス停留所でのよし子の行動に対して、いつもとは全然ちがう対応をするお母さんを見て、自分のしたことをふり返るよし子の気持ちを考えることを通して、世の中の約束事やきまりの大切さを知り、進んで守ろうとする心情について考える。 生命は、遠い祖先から受けついでたものであるということに気付き、自分の命、人の命を大切にすることを通して考える。
3	だし屋のおばあちゃん みそしると自転車	感謝の会を開く子どもたちの気持ちや、涙を流すおばあちゃんの心情を考えることを通して、自分たちを支えてくれている人々や高齢者に、尊敬と感謝の気持ちをもって接しようとする態度について考える。 当たり前に過ごしていた日常に、祖父母が来てさらに生活が充実したことで、家族・祖父母のありがたさに気付いたわたしの気持ちを考えることを通して、家族を敬い、家族の一員として家庭を明るくしていこうとする態度について考える。
評価の観点		
・道徳科の授業においてみられる、児童の学習状況や道徳性に係る成長の様子を見取り、個人内評価として文書で記述します。		
評価の方法		
会話 ノート 作文 質問紙等		